

せいしんがい報

2018年10月1日 第118号

注目記事

- ◆1ページ 第39回夏祭り
- ◆2ページ 一泊旅行
- ◆3ページ ボウリング大会・暑気払い
- ◆4ページ 研修報告・居宅生活訓練事業

法人本部
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切12-1
☎(0246) 74-1551 ㊟(0246) 74-1561

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

障害者支援施設ふじみの園・ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

グループホーム レジデンスなごそ
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおな

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

天真庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033 ㊟(0246) 77-2733

障害児通所支援第2チャーム・日中一時支援第2チャーム
〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) 84-6882 ㊟(0246) 84-6883

障害児通所支援みよん・日中一時支援みよん
〒974-8261 福島県いわき市植田町林内11-1
☎(0246) 85-5720 ㊟(0246) 85-5721

ハーモニセンター
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町19-10

・指定特定相談事業所せんとらる
☎(0246) 38-3520 ㊟(0246) 38-3521

・虹のかけはし
☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

・障害児通所支援チャーム・日中一時支援チャーム
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

第39回夏祭り

やしおみ荘

地域の方々の協力を得て準備を進めてきた、やしおみ荘の夏の風物詩ともいえる夏まつりが8月5日(日)に開催されました。

今年で39回目を迎えましたが、初の試みとしてやしおみ荘の自治会会長の開会宣言の挨拶や夏まつりを盛り上げる為に「お祭りマンボ」の歌を披露してお客様を迎えました。歌の練習はほぼ毎日行っていました。本番では緊張した面持ちでした。それでも半被を着て、練習の成果を発揮していました。

オープニングを飾って頂いたのは、加藤ちゃぼさんによる利用者を参加型にした楽器の演奏です。初めは渡された楽器を叩くことを恥ずかしがっていましたが、ちゃぼさんが見本で太鼓を叩くことでその楽しさが分るとその様子を真似、楽しんでいる様子が見られました。次は会場が盛り上っている雰囲気そのまま、いわきベレーザよる小太鼓の演奏です。サンバ音楽が始まるとサンバ衣装で舞台上で踊るサプライズもありました。大道芸ののんびーさんの演技ではジャグリングの演技やパントマイム、風船を使って色々なものに形を変え、利用者も目を輝かせていました。その後、模擬店も賑わってきたところでステージへ大注目、プアナニフラによるフラダンスです。出演者の子どもも大人も癒しの音楽に

合わせた皆さんの踊りはとても魅力的でした。

夜も近づき提灯も明かりが灯された時、上遠野青年会よるじゃんがらの鐘と太鼓の音が響き、ステージ前で披露して頂き、金山お

囃子会による笛や太鼓の音に合わせ、やぐらの周りを利用者や地域の皆さんの踊りの輪が広がりました。

踊り終えた後は、志摩幸子さんのステージです。利用者や地域の方から「さっちゃん」と愛称が飛び交い、次から次へと握手を求めています。志摩さんにもアンコールに応じて頂いた後は上遠野の夜空に彩る花火ショーです。連日の猛暑で利用者やお客さんの体調面を心配していましたが、大盛況のうちに夏まつりは幕を閉じました。

今年も利用者が夏まつりを楽しんでいる姿を見ることができ、あらためて地域交流の素晴らしさを感じました。この場をお借りし、地域の皆様、ボランティアの方々、ご協力頂いた関係者の皆様に心からお礼申し上げます。



公益社団法人「24時間テレビ」チャリティー委員会様より蓄電池を頂きました。

ふじみの園

8月31日(金)公益社団法人「24時間テレビ」チャリティー委員会様より、Panasonicリチウムイオン蓄電システムスタンドアロンタイプ(容量5KW)1台を頂きました。

いわき市より福祉避難所として指定を受けており、災害時に施設設備や機能を提供したいと考えておりました。今回の蓄電池の設置により、通信機器の使用不可の事態を回避できることはもちろんのこと、利用者の安全確保や地域の避難者受け入れの際に活用していきたいと考えております。公益社団法人「24時間テレビ」チャリティー委員会様にはこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

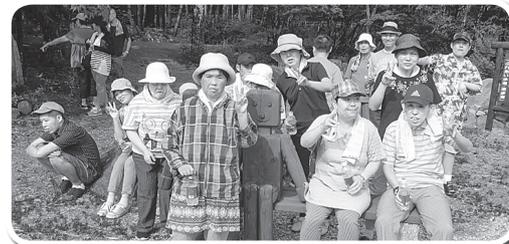




一泊旅行

ふじみの園

7月24日(火)～7月25日(水)の2日間、利用者18名と職員5名の計23名で飯館村にある宿泊体験施設「きこり」へ一泊旅行に出掛けました。今回は自然に触れながら自分達で夕食作りを行う自活体験や、夏の風物詩であるスイカ割りや花火を体験するという「宿泊体験型」の旅行を計画しました。大型バスで飯館村に移動し、宿泊先に到着すると施設の皆さんが温かくお出迎えしてくださいました。昼食を食べた後、早速施設内散策へ出発。散歩コースは沢山の自然で溢れており、大きな湖に架けられている浮橋を渡る際「怖い」と言う方もいましたが、勇気を振り絞ってなんとか渡ることが出来ました。夕方は全員で夕食のカレー作りに挑戦。職員に手順を確認しながら一人ひとりがご飯作りを体験し、美味しいカレーが出来上がりました。自分達で作ったカレーを「美味しい」と言いながら頬張っており、お代わりをする人までいました。食後はスイカ割りや花火を体験し、かき氷も食べました。寝る前には温泉を堪能し、一日の疲れをとってから眠りにつきました。二日目は、いわきに戻り小名浜のいわき・ら・ら・ミュウに行きました。昼食にボリューム満点の海鮮定食を食べ、お土産を購入してから園へと帰りました。旅行中は沢山の笑顔で溢れ、とても充実した楽しい二日間となりました。



ワンダーファーム トマト収穫体験

チャーむ、第2チャーむ、みによん

8月1日(水)チャーむ、第2チャーむ、みによんの3事業所合同で、ワンダーファームにてトマト収穫体験をしました。天候にも恵まれ、大きなビニールハウスで色とりどりのトマト狩りを楽しむことが出来ました。試食も可能だった為、採りたてのトマトを口にする事も出来ました。また、袋いっぱい詰めたトマトをお土産で持ち帰り大満足の様子でした。暑い中でも皆の笑顔がたくさん見られ楽しい時間を過ごしました。



市民総ぐるみ運動

ふじみの園

6月1日(金)市民総ぐるみ運動に参加し、健康増進の為に利用している散歩コースのゴミ拾いを行いました。空き缶や食べ物の袋など草木を分け入って拾い、集めました。また、斜面にあったゴミを拾うなど積極的に取り組む利用者もいました。短時間の作業ではありましたが、ゴミ拾いを終えた後の利用者の清々しい表情が印象的でした。



ボウリング大会



虹のかけはし

8月17日(金)午前中に作業をした後、午後からは暑気払いを兼ねたボウリング大会を行いました。

昼食中も、皆ボウリングについての話ばかりで、落ち着かない様子でした。近くにある、いわきゴールドレーンに到着し、従業員の方々に大きな声で挨拶をして、いざボウリング大会の始まりです。最初は緊張していたのか、中々ピンが倒れずにいましたが、徐々にスベアやストライクが出始めると、あちらこちらから「やったー」と歓喜の声が聞こえ、ハイタッチする様子が見られました。

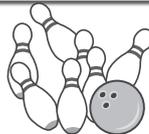
大きな声で応援したり、お互いの成績に一喜一憂し、とても楽しいボウリング大会を行うことが出来ました。



ワークセンターしおさい

8月24日(金)午前中に作業をした後、午後から近くのいわきゴールドレーンにて暑気払いのボウリング大会を開催しました。

何日も前からとても楽しみにしている様子で、この日に向けて日頃の作業もいつも以上に気合を入れて取り組んできました。いよいよ待ちに待ったボウリング大会の始まりです。勢いよく投げられた球はストライクやスベアを次々に決め、皆さんハイタッチやガッツポーズで大盛り上がりでした。体を沢山動かして気分もリフレッシュしたことで作業への気持ちを改めて引き締めることが出来ました。



暑気払い

天真庵

8月17日(金) 午前中、作業をし午後から暑気払いを行いました。

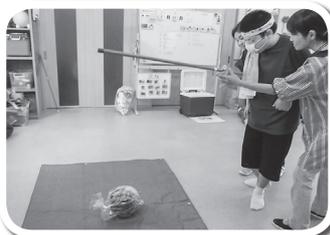
当日においては午前中の作業は落ち着かない様子でした。時間になるとみんなでお菓子を食ったり、カードゲームで遊んだりと楽しく過ごし、あっという間の時間でした。終了後は「また明日から作業を頑張る」という意気込みが利用者から聞かれていました。



カレー作り・スイカ割り

ちゃーむ・第2ちゃーむ・みによん

8月25日(土) 今年も3事業所合同でのカレー作り・スイカ割りを行ないました。2日後には2学期の始業式を控えた夏休み最後の行事です。美味しいカレーを作ろうと子どもたちも職員も張り切って参加しました。野菜の下ごしらえにも積極的に取り組み、楽しく行事が進んでいきました。スイカ割りでも子どもたちが一人ずつ力いっぱい棒を振り下ろし、見事にスイカを割ることが出来ました。またレクリエーションではクイズやお話を通し、皆で夏休みを振り返る時間にもなりました。美味しそうな匂いがしてくるといよいよ食事の時間です。自分たちで作ったカレーやスイカを食べ、沢山の笑顔を見せてくれました。夏休みが終わる少し寂しい雰囲気もありましたが、また一つ思い出が増え、充実した夏を締めくくることが出来ました。



6月20日(水)～6月22日(金)、6月27日(水)～29日(金)の各3日間、福島県総合福祉センター講堂にて開催された「平成30年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅研修」に参加させていただきました。研修には障害者施設従事者だけではなく、介護職員や保育士といった福祉サービス提供者が参加しており、福祉サービスの理念や倫理、キャリアデザインとセルフマネジメントのあり方、中堅職員としての役割等について学び、グループでの演習では他業種の方々とも意見交換を行いました。

岡ノ谷紗彩

3日間の研修に参加し、自身の立場、後輩の指導・育成・コミュニケーションのとり方について学ぶことができ、自身の行動を振り返るよい機会となりました。今回の研修で学んだことを次のステップアップに繋げていきたいと思えます。



江間若菜

中堅職員研修を通して、自身の立場と役割、それに伴う責任について学ぶことができました。職場をよりよい環境に導く為に、利用者支援を丁寧に行うことはもちろん、職員間での関わり・コミュニケーション等を大切に、他職員との連携を深めていくことが大切であると思いました。今回の研修で学んだことを振り返りながら、自分自身成長できるよう頑張っていきたいです。

平成30年度 居宅生活訓練事業開始

やしおみ荘

昨年度の居宅生活訓練事業の男性利用者2名の方が地域移行してから日が経つのは早く、今年度は6月から女性利用者2名が居宅生活訓練を開始しました。昨年同様、やしおみ荘の近くで部屋を借り、今後地域の中で生活する為に必要なスキルをまずは職員と一緒にこなすことで少しずつ身に付けていくことになります。

今回は女性利用者の2名で掃除や洗濯については経験がありましたが、調理は久しぶりに行なうということもあり、緊張している様子も見られました。6月7日から居宅生活訓練を開始し、2人での生活が慣れてきた6月下旬からまずは1日2回交互に昼食と夕食の分のお米をとぎ、炊飯器の予約をするところから調理実習は始めました。今では職員の見守りが無くなっても、お米の量を調整したり、水の分量も間違えることも少なくなりました。食事を自分達で作れるようになることを楽しみにしているようです。

1年間の訓練の中で2人が地域に出た際、困難なことでも自分達で解決する力を身につけられるよう、職員も昨年度の居宅生活訓練の経験を活かしながら、サポートしていきたいと思えます。

～2人から居宅生活訓練をしてみたの感想などを聞きました～

Q1. 居宅生活訓練事業をはじめて、どうですか？

Aさん

- ・施設でできなかったことも、職員に確認しながら行なえて良いです。
- ・良い人生のステップになっていると思えます。

Bさん

- ・自分の時間が持てて、静かで良いです。
- ・あまりイライラしなくなりました。

Q2. これからやってみたいことはありますか？

Aさん

- ・自分達だけで電車やバスを利用して、遠い所にも買い物に出かけたいです。
- ・たまには喫茶店にも行ってみたいです。

Bさん

- ・土日一人でも、二人でも外出して買い物したいです。
- ・調理実習が楽しみです。

Q3. 二人の目標を教えてください。

Aさん

- ・アパートで一人暮らししたいです。
- ・勉強して整体師になりたいです。

Bさん

- ・グループホーム等、他の人と協力しながら生活してみたいです。
- ・食事や買い物、お金の出し入れの体験をして、少しでも自分だけでできることを多くしたいです。

寄付を頂いた方

佐藤 淳一 様 (佐藤理容所 様)

編集後記

朝晩めっきり涼しくなってきました。皆さん、体調管理の方はいかがでしょうか。今年はもうすでに、インフルエンザの患者がでたとのニュースが聞かれました。しっかりと睡眠をとり、うがい、手洗いを習慣化して今年の冬をのりきりましょう。

